

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	栄養教育論実習Ⅰ						授業形態		実習	
科目コード	303100	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	原口 直樹								ICT活 用	○
授業概要	2年・3年次の座学で学ぶ栄養教育の専門的知識の基本を用い、各対象者への栄養教育の方法を学内で実践し、体得させることを目的とする。 特に実習1では、栄養教育マネジメントにそって、対象者の系統的アセスメントの実習を行った上で、面接や栄養カウンセリングの実際についてもポイントを踏まえ、専用の栄養カウンセリングコーナーを用いて実習する。 各ライフステージに合わせたアセスメント・教育計画立案・栄養教育実施に向けた教材（課題解決のためのメニュー・レシピ作成含む）の製作などを各グループで実習することにより、行動変容を促すための、より効果的な栄養教育の方法を体得するよう行う。									
関連する科目	調理学・調理学実習、食事計画論・食事計画論実習、栄養教育総論・栄養教育各論Ⅰ・Ⅱを事前に、履修後は、栄養教育論実習Ⅱを履修して、栄養教育に関連する幅広い知識と技術の習得を目指す。									
授業の進め方 と方法	主体的な取組みを促すため、専用の栄養カウンセリングコーナーなどアクティブラーニングの設備が整った栄養教育実習室で行う。 常時、グループワーク形式で課題解決に取組み、グループワークにて協議した内容はプレゼンテーションにて報告する。 また、栄養教育教材の作成やプレゼンテーションにおいてICT（PowerPoint、動画教材、栄養計算ソフト等）を活用し、対象者に分かりやすく伝えるための資料作成能力の向上を図る。 専門技術習得のため、グループ内の課題に対する共有と協働作業が必要なため、できる限り欠席等のないようにすること。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 「栄養教育論実習の概要について」 「栄養教育マネジメントについて」									
授業計画 【第2回】	栄養教栄養教育マネジメントサイクルにおけるアセスメントの実際（個人対象） 「栄養教育に必要な系統的アセスメント①～身体面・行動面・食事調査方法」									
授業計画 【第3回】	栄養教育マネジメントサイクルにおけるアセスメントの実際 「栄養教育に必要な系統的アセスメント②～エビデンスを用いた調査方法と媒体～」									
授業計画 【第4回】	栄養教育マネジメントサイクルにおけるアセスメントの実際 「栄養教育に必要な系統的アセスメント③～心理・社会面」									
授業計画 【第5回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育計画の実際 「栄養教育計画に基づく初回面接～症例提示～」									
授業計画 【第6回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育計画の実際 「課題解決のための栄養教育計画・策定～現場の現状①～」									
授業計画 【第7回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育計画の実際 「アセスメントに基づいた課題抽出・計画の策定①」～指導計画の作成～									
授業計画 【第8回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育計画の実際 「課題解決のための栄養教育計画・策定～現場の現状②～」									
授業計画 【第9回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育の実施 「アセスメントに基づいた課題抽出・計画の策定②」～指導計画の作成～									
授業計画 【第10回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育の実施 「アセスメントに基づいた課題抽出・計画の策定③」～指導計画の作成～									

授業計画 【第11回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育の実施 「栄養教育計画に基づく初回面接～栄養教育の実施①」
授業計画 【第12回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育の実施 「栄養教育計画に基づく初回面接～栄養教育の実施②」
授業計画 【第13回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育の実施 「栄養教育計画に基づく初回面接～栄養教育の実施③」
授業計画 【第14回】	栄養教育マネジメントサイクルにおける栄養教育の評価 「栄養教育計画に基づく初回面接～栄養教育の実施④」
授業計画 【第15回】	栄養教育マネジメントのためのデータ分析 栄養教育論実習Ⅰのまとめ
授業の到達目標	1. 栄養教育を行うに当たっての基本的な知識やスキルを身につける。【知識・理解の育成】 2. 各教科で学んだ栄養教育に関する知識を実際の指導の中で活用することができるようになる。【態度・志向性の育成】 【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	次回の実習範囲について予習する。(1時間)
授業時間外学習【復習】	人の行動変容の支援に関する実習の中から得た知識や認識・技能を復習する。(1時間)
課題に対する フィードバック	実習全体を通じた課題レポートはその都度、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以上の結果を総合して評価する。 1) グループ学習・実習等授業への取り組み 状況（実習態度、課題提出状況など）60点 2) 課題レポートの内容および提出状況 40点
テキスト	『栄養教育・栄養指導論（演習・実習） 第3版』 堀田千津子・平光美津子・澤田樹美 編著 みらい
参考書	『栄養教育論演習 第2版』岡崎元子・斎場直実 健帛社 健康・栄養科学シリーズ『栄養教育論』丸山千寿子・足達淑子・武見ゆかり 編集 南江堂 『行動変容のための面接レッスン 行動カウンセリングの実践』足達淑子著 医歯薬出版 『ライフスタイル療法! 第4版 生活習慣改善のための行動療法』足達淑子著 医歯薬出版 ほか適宜紹介する
備考	管理栄養士としての病院や学校での勤務経験、また行政・企業との共同研究経験を活かし、実践的な栄養教育に必要な知識と技術について講義を行う。各対象者が直面する課題やその解決策について、栄養教育論の視点から、理論と事例を交えた実践的な授業を展開する。